
私が、私でいること

葉崎あすか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私が、私でいること

【Nコード】

N2952A

【作者名】

葉崎あすか

【あらすじ】

才能って、人には必ず一つはあるんだよ。っという話。

私は、ちょっとした才能がある。

絵が上手かったり、歌が上手だったり、運動神経が抜群だったり、勉強が得意だったり。

みんな、必ず一つは持っている才能。私が、私でいられること。人とは違った大切な力。それを自分の中から発見できたら、嬉しくない人はいないんじゃないかな？

私の力は、最近見つけた。一ヶ月ぐらい前かな。

夏休みに、家族でキャンプへ出かけたときの事。家族ずれの人たちが、たくさんいて小さな子供もたくさんいた。昼食を食べ、私は木陰で昼寝をしようとした。

風がさわさわと木々を揺らし、小川では魚が気持ちよさそうに泳ぎ、小さな子供たちが、歌を歌い、小鳥も気分よく歌っていたとき、突然、それは起きた。

「キャー」甲高い声がキャンプ場に響いた。その声におどろいた小鳥たちが、歌うのを止め、空へと飛び立った。

子供が、川に落ちたのだ。キャンプ場周辺を流れる川は浅く、流れも緩やかだ。だが、一步キャンプ場から離れると、深くて流れが速くなる。そこに子供は落ちた。

「ロープが張っていたはずだ。子供が通れるはずがない」と大人たちは、言っているが、そんな事をしている場合じゃないだろう。

「無理だよ。あそこは流れが速すぎる。大人でも流されてしまう。今、救助隊を呼んだ。早く来てくれなければ」さっき叫んだ女のは、泣き始めた。どうやら、お母さんらしい。

いつの間にか、私は走っていた。

助けなければ。私が、あの子を。そんな気持ちになっていた。

どうやって助けるか。そんな事も考えずに。

「た……たすけて……」小さな声が聞こえた。私はその子の手をつかみ、川から出してあげた。

キャンプ場の人たちは、驚きながら、私を見上げていた。え？見上げていた？

このときになって初めて、私はどうやって子供を助けたのを知った。

私は、空を飛んだのだ。今も浮かんでいる。どうりで、服が濡れていないはずだ。

「あ、ありがとうございます」母はわが子を抱きしめながら、私に言った。

空を飛ぶ。人とはちょっと違うけれど、私の才能。私が、私でいられること。あれ以来、空を飛べないけれど、人って、危機的状况に陥ったときなんでも出来るんだねって思えるよ。

（後書き）

この話は、まったく意味不明です。私は、何を言いたかったのだろう。

読んでくれた方に、感謝の言葉を。
では。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2952a/>

私が、私でいること

2011年2月2日09時10分発行